



SAIE かわら版

国籍を超え、相互理解を深め、「つながり・きずな」を大切に



募集!!

社会見学2025 グリコピア工場見学と立杭焼絵付け体験

日程：5月28日(水) 午前8:20出発

集合場所：ポリテクセンター関西（摂津市役所隣）

参加費：協会会員4,000円 一般8,000円

定員：40名

申込：電話で受付（事前申込みが必要です・先着）

8:20出発～グリコピア見学～昼食（丹波篠山味覚・牛すき御膳）～立杭焼「陶の郷」の陶芸教室で絵付け体験～鳳鳴酒造「ほろ酔い城下蔵」見学とショッピング～黒豆の館でショッピング～摂津ポリテクセンター帰着17:45頃

ポッキーやプリッツでお馴染みのグリコ工場で製造過程を見学します。昼食は丹波伝統工芸公園「陶の郷（すえのさと）」でいただき、絵付け体験をします。その後、江戸期の雰囲気が残る「ほろ酔い城下蔵」と「黒豆の館」へ行きます。食や文化、お買い物も満喫いただける企画を組みました。是非、一緒に行きませんか？



募集!!

国際理解講座2025 ニューヨークの「ほんま」って、どんなん？



日程：6月10日(火) 午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室 1・2

定員：25名 参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付

**講師：キム・ジェヒョンさん（CETアカデミック
プログラム留学生・日本語教室さくらクラブ学習者）**

皆さんはニューヨークに行ってみたいでしょうか？ほんまにどのような町か気になりますか？ほな私がこの町をご紹介とご案内させていただきます！テレビ画面に映る通り、マンハッタンの高層建物だらけの街並みや、自由の女神はニューヨークの全部じゃないです！本場育ちの私とご一緒に、ニューヨークの風景、歴史、人の性格、方言、名物、穴場などなどを探検しませんか？



募集!!

日本語支援ボランティア養成講座

日本語教師といっしょに考えませんか？地域で明日からすぐに役立つ！使える！活動のヒント

日程：7月10日、22日、24日

午後1時半～3時（全3回）

場所：コミュニティプラザ会議室 4

定員：16名 参加費：無料

申込：協会まで電話、メールで受付

（1回のみ、初めての方も受講可）

【1回目】7月10日（木）

楽しい活動の創り方(1)トピック中心の活動を考える

－対話型活動から楽しい交流活動をつくろう－

矢谷久美子さん（日本語教育支援グループことのは理事長）

【2回目】7月22日（火）

楽しい活動の創り方(2)実際のテキストを使って

－具体的な教材から話題作りにつなげよう－

坂本由美子さん（大阪YWCA 日本語教師会会員、大阪府立高校非常勤講師）

【3回目】7月24日（木）

楽しい活動の創り方(3)実際のテキストを使って

－『日本語の4技能』を考えた活動をつくろう－

安田乙世さん（日本語教育支援グループことのは副理事長・NPO 法人おおさかこども多文化センター前理事）

イベント報告

〈結果報告〉国際理解講座

NASAでの研究開発とアメリカでの生活



講師：宮内雅彦さん（株式会社カネカ 基幹研究員・チームリーダー）

開催日：1月28日（火）午後1時半～3時

開催場所：コミュニティプラザ会議室1・2

参加者：28名

参加者の感想

- 仕事のこと、アメリカの生活、文化のこと、いろいろなことが知れて良かったです。フィルム、断熱材、貴重なものに触れることができて嬉しいです。
- 何が目的か明確にすること、特に「帰ってきてからどうしたいか」という留学における準備が必要だったことに心の底から同意しました。夢が目的になるのではなく、夢の先をイメージできるか、普段の生活にも言えることだなと感じます。
- 宇宙の話に興味があったので、とても面白かったです。材料研究という分野は深いところは分からなかったのですが、地球環境のこと、将来の暮らしなど、こういう研究が繋がっているんだなと思いました。子どもや次の世代は宇宙に行けるかもしれないと思いワクワクします！

【どんな研究？】

小型ソーラー電力ソーラーセイル「IKAROS」開発プロジェクトに携わった。「IKAROS」は宇宙空間で大きな薄いプラスチックの膜を拡げ、太陽から光の粒(光子)を受けて航行する帆船。アイデアは100年以上前から存在していたが、薄膜製造、対面積化技術がなかった。将来の(推進力)ゼロエネルギー衛星、宇宙太陽光発電衛星などへの展開が期待される。

【生活・文化は？】

- 護身用に家の中に銃器を保管している人が多い。街中至る所に銃の練習場がある。(普段使用しないので感覚が鈍るため)
- 洗濯物は外に干さず、乾燥機を使うのが一般的。
- 日本の玄関は外側に開くが、アメリカは内側に開く。
(ウェルカムの精神)
- 牛乳は1ガロン（約4L）単位で売られている。
- 病院は当日や翌日には予約が取れない。
(アポイントメントが必要)



〈結果報告〉JICA 講演会

フィジーでの協力隊活動と生活の紹介



講師：佐藤 幸雄さん（公益社団法人 青年海外協力協会 JOCA 大阪）

開催日：3月18日（火）午後1時半～3時

開催場所：コミュニティプラザ会議室1・2

参加者：22名

参加者の感想

- 「世界一幸せな国」の意味を知ることができました。当人たちがそう自認できることが大事なのだなと思いました。牧歌的な国民性なんですね。人間的に優れた国だと思います。
- 思ったよりフィジーは豊かな国かなあと感じました。日本の援助も大きいなと初めて知りました。
- 何も問題のない平和な国かと思えば、温暖化と成人病など問題があるのは大変だと知った。日本政府も力を抜かずに応援してほしい。
- フィジーの産業は観光だけと思っていましたので、いろいろなことが分かり、SDGs に関してお話していただき良かったです。

フィジーって
どんな国？

- 人口：93万人
- 国民の40%はインド人
- メイン産業：観光、砂糖
- 主食はタロイモやキャッサバ。伝統の歓迎儀式「セブセブ」では、コショウ科の木の根をつぶしたものを飲む。
- 「ケレケレ」文化＝分かち合う。
- 太くなければ美人じゃない。
- 遺伝的に太りやすく、糖尿病が多い。
- JICA協力隊員は理学療法や小学校教育の分野に多い。
- ラグビーが盛んで、子どもの頃からタッチラグビーで遊んでいる。鬼ごっこは向かい合ってやる。後ろに逃げない。



〈結果報告〉日本語支援ボランティア養成講座 ―ブラッシュアップ編―

日程：2月18日、25日、3月4日（火）午後1時半～3時（全3回）

場所：コミュニティプラザ会議室4

参加者：1回目14名、2回目14名、3回目12名

1回目では、具体的なやさしい日本語で伝えるポイントは「はさみ」=はっきり言う、さいごまで言う、みじかく言うということを学びました。2回目では、「伝えたい」「知りたい」「アピールしたい」と本当にそう思うからこそ「リアルな交流」が一番学びに繋がるということが分かりました。3回目では、グループで学んだことを意見交換して、「やさしい日本語」を使ってどんな活動をしてみたいかを考えました。時代の変化に伴い変容している状況を客観的に観察し、自分の活動を振り返ることが支援のバージョンアップになることを学びました。



1

参加者の感想

矢谷久美子さん 日本語教育支援グループことのは理事長

- 災害の多い日本に住む外国人に向けて、安心して暮らしていけるように、私たちがができる活動だと思いました。
- わかりやすかったです。ハザードマップなどを使って、今後の活動で実践していこうと思います。
- ボランティア側の意識が上がれば、学習者ももっと自分事として意識が高まる。年に1回は防災の話全員でしてもいいと思いました。



2

坂本由美子さん 大阪YWCA日本語教師会会員、大阪府立高校非常勤講師

- 現行制度のことを教えていただいて、とてもよくわかりました。「日本語学習に気が向いてない人」の悩みですが、今の学習者に関して身にしみてわかりました。今、試行錯誤しています。
- 伝えたいを本当に思うからこそ言葉の学習、1対1or少人数での興味あることの対話、興味深く、納得できるお話でした。
- 生活や文化の交流から入ることが効果的のようですね。



3

安田乙世さん 日本語教育支援グループことのは副理事長、NPO 法人おおさかこども多文化センター前理事

- やさしい日本語を使って何をしてみたいのか？ → 私は改めてやさしい日本語を使ったゴミ分別表や防災地図を作ることができればと思いました。
- 3回の講座、とても興味深い内容で参考になりました。社会包摂を考えた（トランスインクルージョン）居場所づくりの活動を考えていきたいと思っています。
- 外国人の在留資格や教育移民施策等の目の前の現状施策、今後の動向の話が良かった。

募集!!

● 日本語ボランティア

摂津市には5カ所の日本語教室があります。地域に暮らす外国の方へ日本語を使って日本語を教えています。教えた経験がなくても大丈夫です！一緒に活動をしませんか？見学もできます。

● ホームページ制作のボランティア

協会では、ホームページ制作のお手伝いをしてくださる方を募集しています。やってみたいと興味をお持ちの方、あなたのアイデアやスキルを活かしてみませんか？

お問い合わせは協会まで

〈結果報告〉

日本語サロン～今年もお花見に行きました～

4月3日（木）、日本語サロンでお花見に行きました。晴れて暖かいお花見日和。韓国、中国、タイ、ドイツから来た学習者さん5人とボランティア6人、小学生2人の計13人のメンバーです。コミュニティプラザから流れの馬場跡の川沿い（ここにも桜の木が）を通り、明和池公園まで歩きました。桜はほぼ満開で、雪柳やたんぽぽなど春の花もいっぱい。ふだん話すことの少ないメンバーともたくさんおしゃべりできて楽しかったです。（大川）





摂津市国際交流協会の総務部会長を務めております摂津市商工会の島内でございます。平素は、当商工会の事業運営に、ご支援・ご協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、不安定な国際情勢や円安による物価高、人手不足や高齢化などの社会の構造変化に加えて、働き方改革や消費税およびインボイス等の制度改正により、市内中小企業にとって大変厳しい状況が続いています。特に人手不足は深刻で、近隣の高槻市や茨木市と比べて摂津市は有効求人倍率が高く人材難に直面しています。

そのような状況の中、製造業や建設業などで外国人技能実習生が増加しており、リーマンショックまでは中国人が主でしたが、最近はベトナム、インドネシアなど多様な人材が市内企業で働いています。中手企業は従業員を家族のように扱う家族的な経営が多く、様々な国の人材を雇用することで、今まで当たり前となっていた現場

での常識やルール、意識を変えることが必要となっており、言語や習慣が大きな課題となっています。相手の国の文化や慣習を尊重しつつ、コミュニケーションを取ることが非常に重要となっていて、経営者や現場で働く従業員の意識も変わりつつあります。摂津市内で働く外国人はまだ10%にも満たない状況ですが、今後は少子高齢化による労働力不足で外国人雇用は増加すると見込まれており、更に摂津市国際交流協会の果たす役割は大きく、日本語教室事業を中心に多文化共生に寄与するとともに大いに期待されていることと思います。

摂津市国際交流協会では総務部会長として、昨年度は30周年記念事業で中井副会長とともに摂津市内の外国人雇用状況を実際に企業を訪問してヒアリングを行ったり、富田林市国際交流協会に伺い組織運営の状況と課題について事務局様にお話を聞いたりして、記念事業であるシンポジウム開催のお手伝いをさせていただきました。今後も摂津市のグローバル化に向けて、市内企業と連携して国際交流協会の方々ならびに市民の皆様とともに努力してまいりたいと考えておりますので、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



やっぱり南米、サッカーに熱い！パラグアイ ペンネーム：E.M

南米はサッカーに熱い国が多く、強豪国も多い。パラグアイでW杯出場をかけた南米予選があり、パラグアイ vs アルゼンチンという好カードの試合があったので見に行った。

試合はメッシのいる強豪アルゼンチンを1-0の接戦の末破り、南米で一番のりでW杯出場を決めた。試合後は街中・国中お祭り騒ぎの大騒ぎ、そして日付けが変わる頃になって驚くニュースが飛び込んできた。大統領が急遽翌日は祝日にするとニュースで発表したのだ。W杯で優勝したわけでもなく、出場を決めただけで翌日を祝日にしてしまうなんて、さすが南米！次の日は役所関係、公立の学校は全休、私立学校や一般企業は任意でお休みとなりました。予選を一番

に通過しただけでなく、宿敵アルゼンチンを破って！というのがポイントだったようです。ちなみに私が勤めていた学校は私立校だったので休みにはならず、登校してきた生徒達からはブーイング... そのW杯ではパラグアイは8強をかけて日本と対戦、120分では決着がつかず、PK戦を制して勝利し、初出場した1930年から80年がかりで初のベスト8に進出しました。



摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘 5-35

摂津市立コミュニティプラザ 2F

TEL: 06-6319-6251 FAX: 06-6318-6004

Email: office@settsu-saie.org

URL: <https://settsu-saie.org>

開室時刻: 平日 9:30~12:00、13:00~16:30

(休館: 第4水曜日)

会員募集

●年会費: 個人: 3,000 円 / 家族: 5,000 円

青少年: 1,000 円 / 法人・団体: 10,000 円 (1口)

●当協会の事業に無料または割引での参加特典がございます。

●「かわら版」のお届けと催事参加申込みなども優先的に受け付けます。

協会 HP

